

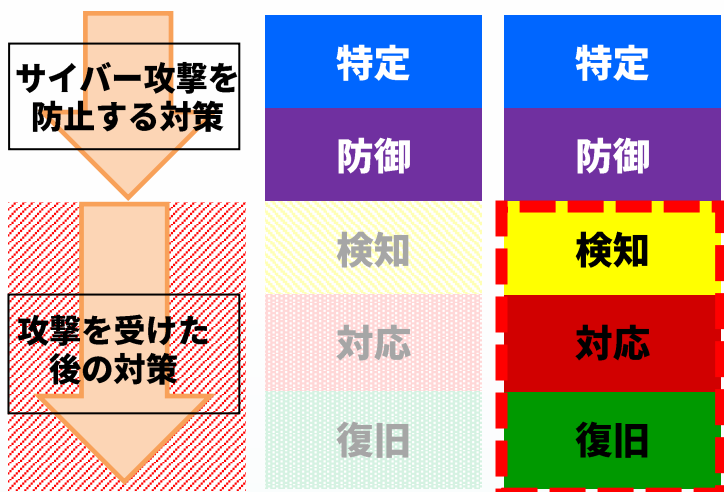
# 「防衛産業サイバーセキュリティ基準」 に準拠するアクセス管理の重要性

## 防衛産業サイバーセキュリティ基準の整備

各ニュースやメディアにおいて報道されている通り、近年ランサムウェア被害が国内で急増しています。攻撃手法自体の進化(二重の脅迫、ばらまき型から標的型へ)やテレワークを狙った攻撃の増加が要因となり、警視庁の報告によれば、令和2年の下半期と令和3年の上半期で比較すると約3倍近い被害報告件数となっています。

現行情報セキュリティ基準  
ISOベース

米国防省基準



※防衛装備庁Webサイトを参考に作成しています。  
(<https://www.mod.go.jp/atla/cybersecurity.html>)

このような状況を受け、特に国家レベルの機密情報を取り扱う防衛産業においては、サイバーセキュリティに対する強化の促進が求められており、この分野で先行する米国の取り組みを参考にして、現行の基準よりも厳格な管理策を求める「防衛産業サイバーセキュリティ基準」が整備されています。

この新基準は、令和5年度(2023年度)の契約から適用となり、防衛産業に関わる企業にとって喫緊の対応が求められている状況です。大きな変更ポイントとして、現行のISOベースのセキュリティ基準と比較して「攻撃を受けた後の対策」までが要求事項に含まれます。

### 注目ポイント

保護すべき情報を取り扱う下請業者にも適用

サイバー攻撃に関し、攻撃を受けた後の対策「検知」「対応」「復旧」が求められる

先行する米国ガイドライン(NIST SP800-171)を意識して整備

## 重要性を増すアクセス管理

すでに多くの企業・団体で、ファイヤーウォール、UTMなどのネットワーク外部からの攻撃を想定した境界型のセキュリティ対策は整備されています。また、さらに一歩進んでエンドポイントセキュリティとなるEDRや資産管理システムといった端末を守るセキュリティ対策も進められています。

しかし、ランサムウェア対策で重要になるのはネットワークの内部のセキュリティ対策となります。実際に流出してしまったアカウントや内部不正による不正アクセスに対する最も重要な対策の1つがアクセス管理となります。



## 多層防御による新基準に準拠するセキュリティ対策

UserLockにより、多くの組織では不十分となっているセキュアなアクセス管理を実現して、ネットワーク外部+ネットワーク内部を守る多層防御で新基準に準拠するセキュリティ対策を構築します。

### ネットワークの**外部**を守る UTM+エンドポイントセキュリティ

- ✓ファイアウォール
- ✓ウィルス対策
- ✓ウェブフィルタリング
- ✓IDS/IPS



### ネットワークの**内部**を守る ログイン管理ツール「UserLock」

- ✓内部不正対策
- ✓なりすまし対策
- ✓ログイン管理
- ✓二要素認証

## UserLockで実現するガイドライン対策のポイント

### ① アクセス制御

アカウントが正規のユーザーが利用しているかの信頼性を高めるために多要素認証や同時ログイン制御が必要になります。

#### 【多要素認証】

「知識」、「所持」、「存在」を利用する認証手段のうち二つ以上を併用する認証

#### 【同時ログイン制御】

1つのアカウントで同時にログインできる数を制限する制御。システムへの不正なアクセスを防ぐ。

多要素認証や同時ログイン制御を用いることによりアカウントを正規ユーザーが利用している信頼性が高まり、有効ななりすまし対策になります。

### ② システム監視

不正なアクセス等を検知した場合、システム管理者にアラートを発することが求められます。UserLockはアクセスポリシーに反する不審なアクセスや不適切なアクセスおよびネットワークセキュリティに対する潜在的な脅威を特定し、システム管理者に知らせることが可能です。

### ③ システムログ

UserLockは全てのログインイベントがデータベースに記録される仕組みです。予め閾値を設定しておき、ログインを拒否される頻度が、許容される頻度を超えている場合にハイリスクユーザーとしてみなされる等ログインの異常を検知できる仕組みが備わっています。

## 参考価格(年間サブスクリプション形式)

※その他レンジの価格や詳細については別途お問い合わせください。

10ライセンス	¥68,700
50ライセンス	¥316,000
100ライセンス	¥550,000



株式会社オーシャンブリッジ

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-12 住友不動産元赤坂ビル7F

Web : <https://www.isdecisions.jp/>

Mail : [userlock@oceanbridge.jp](mailto:userlock@oceanbridge.jp)